



## 岡山産フルーツ輸出へ新スキーム！地元企業連合が農水省事業ダブル採択の快挙

～日本初の鮮度保持技術と佐川急便の物流網で「自走する輸出産地」を形成し、  
2029年までに総額7,900万円の輸出を目指す～

A TRA-DE（エース・トレード）株式会社（本社：岡山市南区新保607-10、代表取締役：小松原一浩）が代表を務める「総社市ぶどうスマート輸出促進協議会」および「おかやま白桃輸出促進協議会」の2事業が、農林水産省の令和7年度「大規模輸出産地モデル形成支援事業」および「生産基盤強化プロジェクト（補正予算）」に同時採択されました。地方の小規模企業が異なる2つの品目で同時に国の輸出実施主体に選ばれるのは極めて異例です。本事業は、地元の生産者と小規模事業者が結束し、2029年度（令和9年度）までに両品目合わせて総額7,900万円の輸出（農水省への事業計画書に基づく目標値）を目指すものです。持続可能な「自走する産地モデル」を構築し、耕作放棄地の解消と農家の所得・社会的地位向上に貢献します。

### 1. 農家・企業・消費者の「三者が利益を得る仕組み」の構築

補助金に依存せず、農家・企業・消費者の関わる“全員が無理なく潤う”流通ビジネスの確立を目指します。具体的には、スマート農業技術の導入や植物本来の力を引き出すバイオスティミュラント資材の活用によって高品質な果実を安定生産し、併せて耕作放棄地の開墾と新植を進めることで、**農家の手取り向上と地域再生**を図ります。さらに、脱粒ぶどうや規格外の桃は廃棄せず、elims(株)や(株)ジー・スタイルと連携して加工食品へと再生（アップサイクル）し、これらを輸出することで農家の通年収入を確保します。これらの取り組みを通じて、国内外の消費者に「本物の岡山の味」を最適な鮮度で提供し、感動をお届けする持続可能な仕組みを構築します。

### 2. 国内唯一の「超・鮮度保持技術」と大手物流の融合

小規模な企業連合体でありながら、遠方への長距離輸送を可能にする**独自の物流スキーム**を確立しました。仕組みとしては、国内に1台しか存在しない「特殊温度帯管理機能付き専用リーファコンテナ」を導入し、フルーツの鮮度を維持できる環境を整備し、さらに、**佐川急便株の全面協力**を得て、産地から海外までをつなぐ最短かつ最適な配送ルートの構築と実証実験を行います。加えて、代表自らが土づくりの専門家（土づくり企画）やタイ市場アドバイザー、環境制御技術を持つ株式会社誠和などのプロを招聘し、現場の課題に直接寄り添いながらプロジェクトを推進します。

### 3. 今後の展開について

**国内商談会**：2026年6月24日（水）～26日（金）開催の「日本の食品輸出 EXPO 夏」へ、岡山県ブースの一員として出展。

**海外展開**：シンガポールでの展示商談会、タイ有力百貨店でのプロモーションや市場での即売会、台湾・高雄の百貨店での特設販売会を予定。

**輸出額目標**：ぶどう・同加工品：3,700万円 / 桃・同加工品：3,200万円

◆.....◆  
【会社名】A TRA-DE株式会社【代表者】小松原 一浩 【住所】岡山市南区新保607-10

【事業内容】農産物や食品の輸出入・卸売 【HP】<https://www.atra-de.com/>

◎本件に関するお問い合わせは 担当の小松原まで願致します。

TEL：090-2924-3499 E-mail：mayumi.k@ace-trade.app